

日時：平成 27 年 2 月 16 日（月）18 時 30 分 ～20 時 00 分

場所：唐竹多目的集会所

対象町会：唐竹

参加人数：33 人

■要望、質疑応答

内 容
<p>○災害時における官地と民地の区分けについて (市民からの意見、質問)</p> <p>昨年の災害では唐竹地区も大きな被害を受けた。災害の原因となった場所が官地なのか民地なのかわからない場合がある。また、民地から流れた水で官地が被害を受けることや、その逆もあると思う。このような場合、民地も含めて官地として対応できないものか。</p> <p>(市の回答)</p> <ul style="list-style-type: none">・昨年の災害では、唐竹地区は被害も大きく、大変であったと思う。・26年度でだいたい復旧はなされ、今後は山の方を復旧する予定である。・国との絡みもあると思われ、どのような対応ができるのか考えたい。・雪が融けてから現場を確認したい。
<p>○災害対応について (市民からの意見、質問)</p> <p>田を2箇所所有しているが、どちらも大雨の被害を受けた。</p> <p>田の取入口が災害の2週間前に砂利で埋まっていたため、町会長を通して市役所に対応を依頼したがすぐ対応してもらえず、その2週間後、災害で川が氾濫しこのような状況となった。なぜ2週間に対応できなかったのか。</p> <p>また、農家の多い地区の懇談会になぜ農林課が来ないのか。そういうことも考えて懇談会をやってほしい。</p> <p>(市の回答)</p> <ul style="list-style-type: none">・職員に対して日頃から言っているのは、「まず市民のために」ということである。早く聞いて現場を見て、迅速に対応するように。と言っている。・このようなことのないよう、話し合いの場をもちながら市民の皆様が困っていたら迅速に対応できる体制をとりたい。・懇談会はずっとこのメンバーで対応してきたが、今回の意見を踏まえ、来年度に向けて検討したい。
<p>○防災訓練について (市民からの意見、質問)</p>

防災無線が完備され、今後、各地域が主体となり訓練等が行われていくものと思われる。訓練等を行っていく母体として、旧平賀町では自治公民館という組織があったが、旧尾上町、旧碓ヶ関村にはない。今後の訓練等に支障をきたすのではないかと。

(市の回答)

- ・防災対応は自主防災組織を組織して対応していくこととしている。
- ・旧尾上町、旧碓ヶ関村の公民館は、旧平賀町と異なり役場が管理する公民館であるため、成り立ちがちがう。
- ・公民館の形態は違うが、災害時は地域の方が協力し、自主防災組織で対応することとしたのでご理解願いたい。

○公民館組織を活用した地域活性化について

(市民からの意見、質問)

旧平賀町では花壇コンクールなどを組織的にやってきた経緯があるが、旧尾上町、旧碓ヶ関村にはない。今後、公民館組織を使って地域を盛り上げていけばいいのではないかとと思う。

(市の回答)

- ・市からコミュニティ育成奨励金は市全域に出ており、各町会のイベントはほとんど全部の町会で行われている。
- ・平賀地域は自治公民館が主となり事業をやっているようだが、他の地域でも町会の中で役割分担をしながら事業を行っている状況である。
- ・花いっぱい花壇コンクールについては、自治公民館協議会が主催であることからどうしても平賀地域が主となる。他の地域でも行われており、婦人団体等が空き地等を活用しながら実施している。もっと参加を呼び掛けていく必要があるかもしれない。

○郷土史研究会の一本化について

(市民からの意見、質問)

郷土史研究会に入っているが、旧尾上町にも同じ会がある。以前、両団体で意見交換会がされたことはあるが、未だに一本化がされていない。この状態では同じ市でありながらお互いに他の地域のことがわからない。行政の力を借りて一本化することはできないか。

(市の回答)

- ・合併時から、一本化できないかということ呼びかけてきた。それでも一本化しない団体に対して強制はできないが、今後も呼びかけてはいきたい。
- ・平川市が委嘱する文化財審議委員会では両地域から文化財に造詣の深い方を推薦していただき、市全体の文化財についての審議を行っている。

○災害復旧工事の工法について

(市民からの意見、質問)

昨年度の大雨の被害を受けた場所の復旧工事があまりにも簡易な対応であったので、1カ月程度で対応した箇所が元に戻ってしまいました。工事をしている業者の人の話では市役所からの指示であるとのことであった。その後同じ業者が再度工事をしており、二度も工事をするのは無駄とを感じるが、どういうものか。

(市の回答)

- ・災害復旧の原則は原状復帰であり、それに従って施工しているはずである。
- ・最初は応急工事と思われ、最終的には本工事はされたと思う。
- ・大規模な災害の場合は市単独事業としての復旧はむずかしく、国の補助金を頼ることとなり、国の査定が入る前に本工事に入ることができないという事情がある。

○災害の申請について

(市民からの意見、質問)

災害で崩れた箇所があまりにも多く、災害箇所の申請をしなかったが、これからでも入れてもらうことは可能か。

(市の回答)

- ・災害の申請が終わっているので難しいのではないか。
- ・雪が融けてから現場を確認する。(土木課に対応を依頼)

○放任園について

(市民からの意見、質問)

放任園が多く、隣接する園地の所有者は泣き寝入りの状態である。これまで農林課にも相談してきたが、どうにもできないでいる。役所主導で対応できないものか。

(市の回答)

- ・放任園とは言っても個人の所有地であるので勝手に手を付けるわけにもいかず、対応が難しい問題である。
- ・空き家も状況は同じで、解体する費用は市民の税金となってしまう。
- ・県の事業で放任園の対策事業があったはずである。薬剤費などの助成である。
- ・以前の話だが、広船地区で放任園があり、所有者が高齢で木を切ることもできなかったが、息子が木を切ってもいいと言ってくれたので公費で切った経緯がある。ただ、この時は木を切った費用を回収できなかった。
- ・勝手に切ることはできないので、家族がいるなら家族を説得していくしかない。

○部活動に対する助成について

(市民からの意見、質問)

竹館小学校のソフトボール部は現在12名で、現在はなんとか小学校単独で試合に出ているが、近い将来単独ではチームを編成できなくなり、クラブチームのようになる時が来るかもしれない。その場合でも市の助成は受けられるか。

(市の回答)

- ・平川市の子供たちはとてもがんばっている。
- ・今までは1人1万円であったが、今回県選抜チーム17名中11名が平川市の選手であること、会場が福岡県であることから、増額の要望があった。
- ・小中学校部活動に対する派遣費用の補助は、小学校の全国大会は交通費、宿泊費の全額、中学校は中体連等に限って全額、それ以外は2分の1である。
- ・部活動は学校単位で行い、その学校の名前で試合に出ているという前提があった。
- ・少子化が進んでいくと今後チームが組めないことも考えられ、そういう時代がくることも考えられる。
- ・現時点では、混成チームが全国大会に行った場合の助成についての検討はしていない。
- ・青森県の代表として平川市から多くの選手が選抜されたので、今回のケースでは支援しようという判断をした。
- ・少子化が進む中で、今まであった部活動がそのまま残るとは限らない。これからはこのようなクラブチームが多くなっていくのかもしれない。

○バスの利用について

(市民からの意見、質問)

大きな大会に参加する時にバスを利用させてほしい。

(市の回答)

- ・現在、市には4台のバスがあるが、平川市の実情では、老人クラブやその他各種団体などの活動でほぼ予約が埋まっている。
- ・各学校に対しては、社会見学に対しては貸出するが、部活動の試合や遠征等には使えない旨お知らせしている。

○シルバー人材センターについて

(市民からの意見、質問)

体に障害があるため、農作業をシルバー人材センターにお願いしているが、3日に1日休みとなるので困っている。これから高齢化が進み、労働力が不足してシルバー人材センターをあてにする人も増えると思う。もっと会員を増やして対応できるようにしてほしい。

(市の回答)

- ・シルバー人材センターは、市とは別の法人であり、市は運営に対して補助金を支出している。

- ・忙しい収穫時期に必要な人数を借りられないとのことだと思うが、作業する人数が足りないようである。
- ・農作業の人材バンクのようなものを農協で検討したこともあったようだが、今後高齢化が進んでいく中で課題となるだろう。
- ・シルバー人材センターは独立した法人であり、市が運営についていろいろと言うことはできない。

○ゴミの集積所について

(市民からの意見、質問)

ゴミの集積所を設置して3年になるが、だいぶ傷んできた。破損するたびに修理してきたが、修理するにも限界がある。今後の継続についてどのように考えているか。

(市の回答)

- ・集積ボックスは、旧平賀町ですべての町会に対して入れ替えをしたと聞いている。
- ・近年、だいぶ古くなっていることもあり、町会からの要望もある。
- ・ただ、自前で作り直している町会もあり、公平を保つためにいい方法を考えている。
- ・全ての町会の集積ボックスを取り替えるとなると相当な数があり、以前は1つ約3万円で作ったので、多額の費用を要することからもう少し検討させてほしい。

○新館公営墓地の街灯について

(市民からの意見、質問)

新館にある墓地の周辺に街灯がない。新館山の下の通りには街灯があるが、墓地周辺には街灯がないことを市では把握しているか。通学路ではないが、対応してほしい。

(市の回答)

- ・新区画を整備したところであり、街灯も設置した。
- ・先日同様の要望があり、対応した。
- ・今後街灯のLED化の工事に着手する。今回の箇所についても対応しているようだし、今後も状況を見ながら対応していく。

○公園の遊具について

(市民からの意見、質問)

公営墓地の下の方にある公園をからたけ保育園でよく利用しているようだが、遊具が老朽化しておりベンチも古い。危険のないようにしてほしい。

(市の回答)

- ・すぐに現場をみて対応したい。春には安心してできるように対応したい。

○ひらかドームでのりんご品評会の開催について

(市民からの意見、質問)

以前、りんごの品評会がひらかドームで行われたことがあったが、近年は市内で行われていない。ぜひまた地元で開催してほしい。

(市の回答)

- ・品評会は10年くらい前にひらかドームで開催したことがある。知覧町からの自転車リレーのゴールを迎えるイベントと併せて開催したはずである。
- ・品評会の日程とひらかドームの空き具合の問題もある。ひらかドームは市外の団体の利用も多く、なかなか空いていない状況である。
- ・品評会と併せて物産の販売などと組み合わせることも必要であり、そういったことも踏まえながらまずはりんご協会とも話してみたい。

○「ひらかわねぶた冬の陣」の今後について

(市民からの意見、質問)

ひらかわねぶた冬の陣が2日間とも中止となったが、来年度以降はどうなるのか。

(市の回答)

- ・冬の陣は昨年12月で当初の計画である5年を迎え、今後どうするかはこれからの検討になる。
- ・ただ、来年の1月1日が市制施行10周年となるため、来年は記念事業として大みそかのねぶたの運行を予定している。
- ・カウントダウンや花火で盛り上げたいと考えている。
- ・おおみそかであるので、何団体もの協力を得ることは難しいかもしれない。
- ・近年は雪が多くなっており、今年のように危険性がある場合は警察からストップがかかる可能性もある。
- ・今、計画しているのは、世界一の扇ねぶたの展示館のとなりに小屋を作り、雪が降る前にねぶたを運んでおけば、万が一運行できなくてもそこで観光客にねぶたを見せることができるというものである。
- ・せっかく県外からの観光客も見えるのだから、そういう工夫をしていかなければいけない。
- ・今後、女子の囃子組を結成したり、組み立てできる高さ4メートルくらいのねぶたを作る予算を確保している。イベント用として、トラックで運んでいけるものを作る予定である。

○災害に対する考え方について

(市民からの意見、質問)

かつて岩木山で土石流があり、多くの死者を出したことがある。また、東日本大震災以降たくさんの地震が起こっている。昨年の水害の時は不幸中の幸いで死者は出なかったものの、今後もたくさんの災害が起こるのではないかと思われる。それに対して市長はどの

ように考えているか。

(市の回答)

- ・まずは行政としては市民の安全安心を守ることが大切である。
- ・来年度の予算編成における重点項目の1つとして「防災対策に重きをおいた安全・安心なまちづくり」という項目を設け、重点的に予算配分をしたところである。
- ・一例として、防災拠点となる各地区の集会所の耐震化を図っていくこととしている。
- ・耐震基準をクリアしていない集会所については耐震改修や建て替えを行い、建て替えする場合の地元負担についても、できるだけ少なくするシステムを作って町会長の皆様には説明をしている。
- ・各地域に自主防災組織もでき、災害に強いまちづくりを進めていきたいと思っている。
- ・気づいたことなどは言ういただければ、対応できるところは対応していきたい。